

訪問看護ステーション花はな

大田原市黒羽田町802-110

施設アピール

癒しと健康をテーマに、ご自宅でゆったりとお体を癒し、自然の治癒力や回復力、ひいては体力を培い、免疫を高め、より健康な状態でいられるよう、二四時間、三六五日、お手伝いさせていただきます。

施設の役割や特徴

デイサービス花はなが併設され、看護師が兼務しています。訪問看護の利用者の状況や本人の希望、家族のレスパイト目的に双方の意思等話し合った上で、デイサービスの利用につながっています。

また、利用者・家族の希望で、自費によるお泊りができます。つまりナーシングホームのような利用ができます。

連携している主な医療機関

那須赤十字病院、国際医療福祉大学病院、那須訪問診療所からの依頼があります。周辺の開業医からは、車田医院、磯医院、益子クリニックからの依頼もあるようになりました。また、高齢者の他、精神疾患、難病等の利用者もあります。



利用保険割合
医療保険：5割
介護保険：5割
事業運営責任者
益子美幸様



ケアマネジャーとの連携

今のところ、困っていることはありません。本人や家族の要望を聞き、素早く対応してくれて、うまくマネジメントができています。

こうなったらいいなあ

利用者は軽症やゆっくりターミナルが多いです。とにかく書類・手続き・記録等量が多いし複雑です。もっと簡素化ができればいいなと思います。

家で看取るということに変化はあまり見られず、病院に入院したケースは今まではなかったのですが、今後も、自宅での看取りを支援していきたいです。そして、住み慣れた自宅で最期を迎えられたらいいなあと思います。

夫婦二人きりの家族で、医療処置が多いケースは、介護負担が大さい、まして仕事はやめられない場合は、支えるチームが整っていないと病院や医療療養型へ入所し



訪問先から帰ってきた看護師の藤田さん(右)、益子さん(左)です。風の強い日で、休む暇なくまた出かけていきました。



マスコット犬のココとマロが、元気にお出向かえをしてくれます。



てしまっても残念です。訪問看護が中心となり、在宅療養を支えるチームが整備されるといいですね。そしたらもっと在宅での看取りができるかなあと考えています。家族がいて、愛犬がいて、普通の日常があつてゆっくりした時間があつて、そんな人生の終い方がもっとできるように支援していきたいです。